

総論

満点	200点	目標得点	140点	試験時間	100分	偏差値	A:73 B:75
大問数	4	小問数	40				
【解答形式】		選択式	39/40問	記述式	0/40問	論述式	1/40問
【問題難易度】		C	3/40問	B	17/40問	A	20/40問
※問題難易度：C難問、B可否を分ける問題、A正答すべき問題、を示す							

Topics

- 1：読解問題では1000語を超える超長文が出題される。  
今年度は読解問題は3題で、合計で3000語近くなった。読解問題のテーマとしては、例年、社会問題や経済に関係するものが多いが、専門的な背景知識は必要なく、受験生としての常識的な知識があれば十分太刀打ちできる。
- 2：作文では、100語以上の自由英作文が課される。  
与えられるテーマは、読解問題と同様に、社会問題や経済関係のものが多いが、こちらも特に専門的な知識は必要とされていない。
- 3：選考に関して、経済学部では1次選考の後に2次選考がなされる。  
具体的には、200点満点中90点分が1次選考として採点され、そこで一定の点数を取ったものだけが2次選考で残りの110点分を採点される（2008年度の例）。1次選考と2次選考の合計点が最終的な点数となる。今年度では大問ⅠとⅡが1次選考、大問ⅢとⅣが2次選考の問題となったと予想される。

こんな力が求められる！

1. 慶應大学経済学部というと非常に英語が難しいというイメージがあるが、読解問題の難易度は慶應大の他学部や早稲田大の問題と比較して決して難しいほうではない。むしろやさしい部類に入る。センター試験を基準にすると、夏休み明けに7割（140点）、本番では8割（160点）程度とる力があれば、合格最低点を超えることは可能である。したがってOS英語在籍者だけでなく、Advanced英語在籍者もチャレンジ校として視野に入れるべきである。
2. 自由英作文に関してはそれなりの対策が必要である。100語以上というまとまった英文を書く力をつけなければならないのだが、いきなり100語は難しいので、春から夏にかけて50語程度の英文を書く練習をし、秋以降に100語以上というように、段階的な練習をするのがよい。書いた英文は必ず講師に添削してもらい、論理展開や文法・語彙などに関してアドバイスをもらうようにしよう。
3. 語彙に関して、最終的には『でか単』PART 3、『完熟』PART 2まで覚える必要がある。単語は夏休みが終わるまでに『でか単』PART 2、『完熟』PART 1までを8割程度覚えることを目標にする。秋以降は、それらの完全暗記と並行して、『でか単』PART 3、『完熟』PART 2をできる限り覚えていけばよい。

参考図書

1. 新聞（日本語の新聞の社会面）
2. 新聞（英字新聞：Japan Timesなどの社会面、あるいは週刊STなどの学習者用英字新聞）
3. 『日本の論点』（文芸春秋）（新聞やニュースなどを見て、興味のあるところを目を通しておくとよい）

## 大問別分析

### 【I】

<b>予想配点</b>	30 / 200 点	<b>時間配分の目安</b>	15 / 100 分
<b>出題内容</b>	長文&会話文 [Word数] 346 語 [『でか単』『完熟』レベル] 『でか単』『完熟』共に PART 2 [長文テーマ] 勤務マニュアルの有効性とその限界 [長文内容] 企業内で用いられる勤務マニュアルを作り、それに従ってパートタイムの従業員を教育するのは効率が良いが、一方で思考力や判断力を養うことができないという限界もある。		
<b>出題形式</b>	空欄補充 (選択)、正誤、表題		
<b>小問別難易度</b>	※問題難易度：C難問、B合否を分ける問題、A正答すべき問題、を示す (1)B (2)B (3)A (4)A (5)A (6)A (7)B (8)A (9)A (10)A		
<b>お茶ゼミカリキュラム・テキストとの関連</b>	O S 英語、Advanced 英語の READING では本問のような「説明文」を数多く解くことになる。また本問長文中の文法問題は、すべて 3 月期と 4 月期に GRAMMAR 学習する基本的なものばかりである (関係詞、準動詞)。語彙レベルは『でか単』PART 2、『完熟』PART 1 である。		

#### ●解答のポイント&学習対策等

読解力が問われる問題 ((1) (3) (5) (6) (9) (7) (10)) と、文法・語彙力が問われる問題 ((1) (2) (4) (8)) が融合された、いわゆる総合問題なので、各設問を解く際には頭の切り替えが必要。すなわちマクロ的な視点で文脈を把握する頭と、ミクロ的な視点で文構造を分析する頭である。また(7)のように、一見文法問題のようだが、文法上の誤りではなく文脈から判断させる問題も出題されているので注意が必要である。お茶ゼミのテキストの READING と GRAMMAR をしっかりとこなしていれば満点近く取ることも可能な問題である。

### 【II】

<b>予想配点</b>	60 / 200 点	<b>時間配分の目安</b>	30 / 100 分
<b>出題内容</b>	長文&会話文 [Word数] 1229 語 [『でか単』『完熟』レベル] 『でか単』PART 3 『完熟』PART 2 [長文テーマ] アメリカにおける移民労働者の劣悪な環境 [長文内容] 19 世紀後半以来、アメリカの移民労働者は “sweatshop” と呼ばれる劣悪な労働条件の工場で働き、また偏見や差別も受けていた。その後、労働条件を改善する法律が制定されたが、不利な状況は今日まで変わっていない。		
<b>出題形式</b>	空欄補充 (選択)、内容真偽		
<b>小問別難易度</b>	※問題難易度：C難問、B合否を分ける問題、A正答すべき問題、を示す (11)A (12)A (13)B (14)B (15)A (16)A (17)A (18)A (19)C (20)B (21)A (22)A (23)B (24)A (25)B (26)A (27)B		
<b>お茶ゼミカリキュラム・テキストとの関連</b>	1229 語という超長文 (お茶ゼミのテキスト約 4 ページ文に相当) を 30 分以内に読んで解答するために速読即解力が求められるが、O S 英語ではテキストで超長文を扱う回があり、また Practical Exercise での速読演習が本問の対策となる。Advanced 英語では、テキストでここまで長い長文は扱わないが、本問の難易度はそれほど高度ではなく立教大などと大差はないので、秋までに標準的な長さ・レベルの長文を読む力をつけ (立教大の過去問などで演習するとよい)、秋以降に「長文マラソン」で超長文対策をすればよい。語彙レベルはやや高く、『でか単』PART 3、『完熟』PART 2 レベルのものが見受けられる。		

#### ●解答のポイント&学習対策等

超長文問題での内容真偽問題で重要なのは、本文中の該当箇所をいかに速く特定するかである。本問の

# Benesse® お茶の水ゼミナール

場合、選択肢羅列型の[A]は本文の記述通りで選択肢が並んでいる。このタイプの設問は本文を読みながら解いていくと時間の節約になる。リード文がついた[C]～[I]は本文の記述通りの順序ではないので本文中の該当箇所を見つけるのに手間がかかる([E][F]は下線部があるので容易)。本文を読み終えた後に“sweatshop”や年代・地名などのキーワードをヒントにして該当箇所を探すのがよい。全体の大意を把握すると同時に設問該当箇所は細部まで注意深く読む必要がある。語彙レベルは *reminiscent*, *vulnerable*, *epidemic*, *aspiration* など『でか単』PART 3 レベルのものが出ている。知らない単語が多いと速読も緻密な読みも困難になるので、『でか単』はPART 3 までやっておくべきである。

## 【Ⅲ】

<b>予想配点</b> 60 / 200 点	<b>時間配分の目安</b> 30 / 100 分
<b>出題内容</b> 長文&会話文 [Word数] 1231 語 [『でか単』『完熟』レベル] 『でか単』PART 3 『完熟』PART 2 [長文テーマ] 男女におけるスポーツ [長文内容] スポーツを教育に取り入れるべきかどうかに関して社会的あるいは歴史的観点から、性差も踏まえつつ、男女4人が議論する。	
<b>出題形式</b> 空欄補充(選択)、内容真偽、強勢	
<b>小問別難易度</b> ※問題難易度：C難問、B合否を分ける問題、A正答すべき問題、を示す (A) B (B) A (C) A (D) B (E) C (F) B (G) A (H) (a) B (b) B (c) C (d) B (e) B	
<b>お茶ゼミカリキュラム・テキストとの関連</b> 会話形式ではあるが、くだけた口語よりも文語表現が多く、お茶ゼミテキストのREADINGで十分に対策ができる。また、口語表現に関しても、センター試験や他大学で会話問題が増加していることを踏まえてお茶ゼミテキストでも会話問題を多く扱っている(O S英語、Advanced英語ともに3月期から扱う)。	

### ●解答のポイント&学習対策等

会話形式の超長文。登場人物が4人もいるので誰がどの議題に対してどのような意見・主張なのかを押さえながら読む必要がある。具体的な解き方としては、本文を最後まで読んでから設問を解くのではなく、本文を読む前に設問に目を通し、どのような情報を拾えばよいのかをあらかじめ頭に入れておく。それから本文を読み始め、各設問で問われている情報が出てきたら、その都度解答する。[D]～[G]の内容真偽問題はほぼ本文の記述通りの順番なので解きやすい。また[H]は、ある議題に対して誰と誰が反対の立場をとるのかという難問であるが、これも本文を読みながら解けば時間の節約になる。本問のような会話形式の長文は昨年3年ぶりに復活し、今年も引き続いて出題されているため来年度も出題される可能性が高い。形式に慣れていないと時間ばかりかかってしまう恐れがあるので、慶應経済学部の過去問などで類似問題にあたり、解き方を身につけておく必要がある。具体的には、頭の中で考えるだけでは答えを出すのが困難なので、登場人物とそれぞれの主張を表にして書いておくとよいだろう。表を作っても時間は十分足りるはずであり、むしろ表を作ったほうが情報が整理され、時間の節約になるだろう。

## 【Ⅳ】

<b>予想配点</b> 50 / 200 点	<b>時間配分の目安</b> 25 / 100 分
<b>出題内容</b> 英作文 [Word数] 100 語以上 [テーマ] 適切な食生活に関する問題点とイベント [内容] 自分がボランティア団体に参加していると仮定して、食生活に関する問題点(「朝食を食べない人が多い」「家族と一緒に食事をしない」etc.)を一つ選び、それがなぜ問題なのかを説明したうえで、イベント企画(「ヘルシー料理コンテスト」「栄養クイズ大会」etc.)を一つ選び、問題点との関連性を論理的に説明する。	

# Benesse® お茶の水ゼミナール

**出題形式** 自由英作文

**小問別難易度** ※問題難易度：C難問、B可否を分ける問題、A正答すべき問題、を示す B

## **お茶ゼミカリキュラム・テキストとの関連**

OS早慶、OS慶應ではテキストで自由英作文を数多くこなす。Advanced 国立では前期に和文英訳で基礎を固め、後期から自由英作文の演習に入る。またスポット授業や夏期・冬期講習でのネイティブ講師による英作文講座までとれば対策は万全である。Advanced は夏休み前までに GRAMMAR で文法の基礎を身に付けた上で、夏期講習から英作文講座で自由英作文対策のスタートを切れば本番までに十分間に合う。

## **●解答のポイント&学習対策等**

今年度のテーマは「適切な食生活の大切さ」という、受験生にとっては比較的取り組みやすいものであった。選んだ問題点が問題である理由を説明するのはさほど難しくはない。しかし、その問題点と選んだイベント企画との関連性を説明する部分で差が出たと思われる。これは、イベント企画が問題の解決につながるという方向で、それを論理的に説明できていなければ高得点は望めない。単にあいまいな「関連性」を書くだけでは不十分である。自由英作文の対策としては、とにかく自分で書いてみることである。このとき、辞書に載っている表現をつぎはぎにして英文をでっちあげても上達しない。辞書に頼らず自分の知っている表現を使って書いてみよう。また、書いた英文は必ず講師に添削してもらい、まずいところを直してもらおう。〈書く→添削→書き直す〉を繰り返していけば、慶應経済学部の英語で最も差がつきやすい本問で高得点が望めるようになる。